

令和5年度（2023年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	理科	科目	化学	学年	第2学年	類型	II型理系
単位数	3単位	教科書	改訂版 化学（数研出版）				
補助教材	「セミナー 物理基礎＋物理」（第一学習社） 「化学基礎・化学実験ノート」（愛媛県高教研理科部会化学部門）						

学習目標	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。
------	--

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期考査
1学期	4月	第2章 物質の変化と平衡	外部から加えた電気エネルギーによって、電極で酸化還元反応が起こることを理解する。 化学反応における熱及び光の発生や吸収は、反応の前後における物質のもつ化学エネルギーの差から生じることを理解する。 物質の状態変化、気体の性質、固体の構造について観察、実験を行い、物質の状態とその変化を理解する。 物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連付けて理解する。	中間考査
	5月	第2節 電池・電気分解		
	6月	第1節 化学反応と熱・光		
	7月	第1章 物質の状態 第1節 物質の状態変化 第3節 固体の構造		
2学期	8月	第2節 気体の性質	気体の体積と圧力や温度との関係を理解する。 身近な現象を通して溶媒と溶液の性質の違いを理解する。 周期表と元素の性質について関連付けて理解する。 非金属元素の単体と化合物の性質や反応を周期表と関連付けて理解する。 典型元素の金属の単体と化合物の性質や反応を周期表と関連付けて理解する。 遷移元素の性質を典型元素と比較しながら理解する。	中間考査
	9月	第4節 溶液の性質		
	10月	第3章 無機物質 第1節 周期表と元素の性質 第2節 非金属元素		
	11月	第3節 典型金属元素		
	12月	第4節 遷移元素 第4章 有機化合物		
	12月	第4節 遷移元素 第4章 有機化合物		
3学期	1月	第2節 脂肪族炭化水素	炭化水素を基本とした有機化合物の分類と性質について構造と関連付けながら理解する。 酸素を含む有機化合物の特徴を構造と関連付けながら理解する。 元素分析を通して有機化合物の組成式が得られることを理解する。	学年末考査
	2月	第3節 酸素を含む脂肪族		
	3月	第1節 有機化合物の特徴		

学習の方法	日々の授業において自分の学習目標を設定して努力することが大切です。原子や分子などの非常に小さな粒子について学ぶ際には基本的な概念や原理・法則を理解していくことが必要ですが、単に暗記するだけでなく、なぜそうなるのかを考え、系統立てて学習していくことが大切です。日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味を持ち、その法則性について考えながら学習に取り組んでみましょう。
-------	---

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
		自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。また、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行う。 平常点は、提出物（課題、ノート、学習プリント等）・小テスト・実験レポート・授業に取り組む姿勢を考慮して評価する。		